表1.3.1 令和5年度補正 CLI建築実証事業 採択事業一覧

担当者氏名	ライフデザイン・カバ ヤ株式会社 FG事業 部 技術課 中谷 和弘	ケファサイン・カバ サ本株式会社 FC事業 部 技術課 難波 和也	前田建設工業株式 会社 関西支店 万博 RTE館作業所 德舛 英明	・級建築土事務所 前川建設株式会社 CLT事業部 前川 柱恵三	株式会社 サカモト 代表取締役 坂本 晴信	島田治男建築設計 暴務所 島田治男
得られた成果概要	・納材車両から自走式クレーン車両にてCLT壁の荷下ろし、取付場所へ運搬、直接設置を行う事で一般的な中間作業を省略した。上紙工方法による作業時間調定を行った。 ・上記施工方法による人工(鉄骨工事職方)、作業時間短縮で得られた労務費を一般的に想定される木工事職方費用と比較後証を行った。	OLT制振墾に有関ロと表面加工を施しており、金物費用とパネル加工業の影響で既在10 よりもコメトは高くなるが、顕材ダントが一体展明することでCLTが負担するの力を一定に抑え、耐力の範囲内であるが自由な関ロを設けることが出来るなど電匠的な自由度が高く、構造性能を兼ね備えたCLが出来をなど電匠的ることを確認した。	・本実証事業において、令和5年3月の木構造振興(株)による 「CLTの特性を活かした3月間性の高い抗膨精強による建築物の 乗用化」において検証された「ハングアップエ法」について、実建 利力に対すった上ができた。 ・当該エ法について経済性と普及の親点から改良と施工検証を 行うことができた。 ・三角形のGLTバネルによる折筋構造により、憲匠性、音響環 地に優れた空間形成を行うことができた。	・今回の建築コスト事例分析では、構造例の直接工事製は構物同關と いい。強は軽量なため、地震は地震の現で安全性を解解でき、基礎や地 中域を社能的からべてきるが、RC達や5番かは自己は抗能工が必要で、 基礎工事員が同くできるが、RC達や5番台には抗能工が必要で、 ・ 銀本工事以同くのは、 ・ 1 のでは、1 の	横面の試験データにより桁行の開口率85.7%(1-(2.4/716.8)) を実現することができた。高耐力の壁を少なく配置することで登 面の開口目由度が高くなること、またトラスを活用して多雪地域 をかりなからま現19.6mののスパンを実現しこと、水平構面強 度により耐力整線開隔 (8.mが可能になったことにより耐力を の無柱空間を構成できたことは、本建物だけでなく、物販店舗 や事務所など他の用途でも活用できる、汎用性が高い工法が 開発できた。	本実証事業を通じて、岡山県産の森林認証材を使用した中・大 規模建築を行うことによる森林認証的が用促進や、協議会活 務金のした本内流通網の通貨、再等体的課題整理と対策、実 施、行政と一体とびらに「建築」取り組むことによる社会への 及促進効果など地域の木材産業の振興、環境保全に貢献する 取り組みができた。
建築物概要	用途,店舗兼專務所 精練,5號,C.T.阿爾爾 配數,5縣,C.T.阿爾爾 下屆人間報,1272,31㎡ 工學種別,對策 四十予定,令和7年8月27 四	用途: 店舗 構造: S進/有孔CLT制振 體, S建/有孔CLT制振 階數 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5: 5:	用途・展示場 構造・GLT/イネル工法 開設・I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	用途:事務所 構造:CLT/4ネル工法 開發:ELT/4ネル工法 正人面積:59185㎡ 工事種別:新築 按工予定:今和7年3月31 日	用途、倉庫 構造:在来軸組工法 開發式: 建一位	用途·事務所
建設地	遊玉海 中 市	埼玉県 さいた。 市	大	英 路 市 市	鳥取県人頭郡	国国际
RC道、S遠等他工法との比較にかかる提案	難要要においても今後並なの人手不足や人件要掛が叫ばれる中、CL でイメル材を用いた工法の銀で方達度等の第工程位性に注目が集まった いる。そんなれ、CDTパネル材によるコメルの変因が新、コメト結婚の で製工業を行うともに、業別工程の人件製ごついて他工法(RC造)と比較 は終け、CLTパネル材を用いた工法の第工権位性を数値化する。	本計画で採用する有孔のLT耐力量について意匠計画における 和性性、機能制用におりる範疇能を報じする。そのこと により設計時における実用性を検証すると共に、一般的なる値 で行う原理工法の権工権及しスト上は彼もして3億・第人の にいてパルルの第一部が実別として示す。計2のLTパネル材が はりにパルルの第一部が実別として示す。計2のLTパネル材が はり構造業後来業件可具現化することで建築における耐震設計 の新機能を見い出す。	・ 仮設建築物として採用の多いS 造と施工工程や仮設計画を踏ま 大機・コストや出野、工程等等の比較を行う。 仮設建築物の信 のである解本や移転すで含かて検討することで、本種物のよう に原体としたが、本だもかで検討することで、本種物のよう に原体としたが、本体のである。 また経 が存在あるかる、本建物では小さい三角形 パネルを様でにとで 大者にあるかる、本建物では小さい三角形 パネルを様でにとて 大者に引きが、オルを成立せ、マザーボードからの歩留まりを 大橋に改善することを図る。	他工法での類似の用途、規模の建築物の施工実績が豊富な建築主・協議体建営者とて、本事業で実証するこれを用いた建築物をの造、途、不造で建築した場合の工程別の総コストン工期を比較の企う。工用表比較の大力をとより、本業における大利特別達、施工工程・工場をの原題名が有ることが可能である。また。BINAを利用した施工の省力化や合理的施工計画の策定により工規短網に上流に比べ低い価格の実現が可能である。さらに、居住性の向上といったGIT建築のメリットについて明文化が可能である。	[ 倉庫建築は一般的に山形ラーメンの鉄骨造が多い。コンピニ等 1 の店舗においては軽量鉄骨造が多い。これらの工法は実例も 2 めた一を収録しが指出来る。 本程案の高限カコアを内包した本途に「面材補強工法の工事 費用と上記を比較終討することで、建設コストの優位性を明らか 「にして、この工法の普及・啓発を図ることが出来ると考える。	CLT海の利点(施工期間の短縮、環境への配慮。デザインの自由度を他の工法(RC造、S造など)と比較し、再生可能な木材の単の関係がの関係が手に関係が入したが、一部域認証者の価値をアピールしたいと考えている。非た。RC造、S造むCLT衛で製造時の改集集出量と比較をすることにより、CLT建築が地球環境(今与える影響を検討する。
実証する内容	CLTパネル材が工場生産品である利点を生かずこと、また構造 BIM検証により事前に現場業務の懸念点を明確化化体業の簡略 化を行うことで、水工事件業等による業務領域を他の職がでもし 表える鍵材として領域を広げ折行する。そこで特で設置・程を 基に、人手不足や人件費増の問題を解決すると同時に生産性 の向上を実証する。	本件は狭小地に計画する9階建で中層テナントビルである。――般的な中規模とルでは意匠計画上、耐震要素を配置できる部分が腐定なか、アケード単画に手続着するものですが、中域繁計画上の制限がないなる。そこでザインとは関連を指してまる関ロを描えた点れる「耐力量を採用し、その性能実験なり設計検証を行う。	三角形のCLTパネルJによる折能構造を用いて、12mのスパンを かけ渡す意匠性の高パゲオールト状の空間を実現する。将来的 には、より大空間が状められる作者簡単の信仰的ないない 適用を見振え、アーチ型コニットを反復させることによる空間の 拡張方法や工期短縮・コスト削減のための効率的な施工方法を 実証する。	性能と意匠を両立したCLT建築のモデルとなる自然循環型オフィスピルを建築し、地域におけるCLT建築書及の核とする。空の成の変しいを使い、ZES、高度密化、自然エメルゲー方用、床の遮管性を実現するともに、BMの SER や施工制画を理化によりコストを低減する。それらにより、同様様のRC造 SE・末途建築と比較したCLTのメリットとコストについて検証する。	CLT(38)と在来軸組(防盪)を併用した高強度の構面試験を実 施。これを用いて高南力のコアユニットを開発する。鉛直、水平 構面のコア以外に求められる強度要求を下げ、コスト制減を図 る。 世代 特座である「曾顕 スギリの意匠性を活めし、柾目無節の 板材を表面に配した。「メルの強度試験も同様に実施して、CLT パネルの征目と版目の強度特性を分析する。	CLT使用量 約610㎡(必要原木量 約2,000㎡)の大型案件を、 連進林が見ぶれる森林観光で建築するためには、どのような体制やスケジュールが必要かを実証する。 反開の事務所ピルをCLT客で建設することで、街に検索を固定 日間の事務所ピルをCLT客で建設することで、街に検索を固定 によりCLTを現しで使用し、豊かな軌務空間の構築について今 によりCLTを現しで使用し、豊かな軌務空間の構築について検 証する。
CLTの主な 使用方法	構造体	構造体	構造体	構造体	構造体	華 荷 本
実証の種類	<b>姚</b> 觀	設計、性能	凝凝	建築、設計、性能	建築、設計、性能	建築、設計
応募事業名	(仮称)大宮区大門 町テナンドル5階 離でプロジェクト新 築工事の建築実証	(仮称)艦改構本店 テナントアン新築工 事の設計集証	大阪・関西万博 RVTEネガティブエ RV・コン実証プラン ド ガイダンス棋の 建築実証	山陽建設CLT建築 オフィズビル新築工 事の建築実証	株式会社サカモト 倉庫新築工事の建 築実証(征目板材 の材料特性の検 証)	セリ7株式会社本 社新築工事の建築 実証
応募者名 (協議会運営者)	ラインデザイン・カバヤ株式会社 株式会社 代表取締役会長 野津 基弘	ライン・ガバヤ 株式会社 代表取締役会長 野津 基弘	前田建設工業株式会 社 関西支店 常務執行役員支店長 坂口 伸也	前川建設株式会社 代表取締役社長 前川 容洋	株式会社サカモ 代表取締役 坂本 晴信	島田冶男建築設計事 務所 島田 冶男
応募者 (建築主等)	寿陽会社ポルト企画 代表取締役 大河内 一利	株式会社SAKURA 代表取締役 中村 騰一	公益財団法人地球環境產業技術研究機構 (QRE) 理事長 山地 憲治	山陽建設株式会社 代表取締役社長 関本 慶次郎	株式会社サカモト 代表取締役 坂本 隋信	七17株式会社 代表取締役社長 木語 旬
番号(都道府 県順)	-	2	3	4	5	9

				laft.	1
担当者氏名	株式会社西崎組設計部 設計部 西崎 暢仁	株式会社響建設 代表取締役社長 丁野 敏明	ウインド オイン・カバマ 本株 対象社 本内 幸年	株式会社studo KONVJ一級建築士引 務所 坂口 友希夫	子育で住宅木材利 用促進渠証協議会 小林 将
得られた成果概要	・CLTダブルスキンの性能向上を確保し、施工性を鑑みたディデールを異現化した。 ・CLTダブルメナンとその他外壁仕様を温熱シミュレーションは、株式会社西 戦し、耐熱性が向上に上線値を示せた。 は、耐熱性が向上に上線値を示せた。 ・CLTダブルスキンの外接モックアップを製作し、実施時の施工 設計部 では必要と現地での暴露試験によって塗料の性能を目視で確認 西崎 陽仁でた。 ・CLT選し様・パネルを具現化することで狭小敷地での施工性向上と短工期を実現した。	・4年耐火建築物の設計に用いた部材の特性値、及びCLT接合 部の最適納まりが得られた。 ・第五、搬入ルボードにより投票地盤の構造工法、大版パネル の運搬・搬入・建て方の核配ができた。 ・36mモジュール標準ブラン単位でのコスト算出を試作し、4年は、代表取締役社長 ・36mモジュール機準ブラン単位でのコスト第出を試作し、4年は、代表取締役社長 ・36mモジュール機準ブラン単位でのコスト第出を試作し、4年は、代表取締役社長 ・36mモジュール機準ブラン単位でのコスト第出を試作し、4年は、代表取締役社長 ・36mモジュールをいた。 ・36mモが指していて、カッサイズと吊り込み方法は良好 な施工結果が得られた。 ・32m年性能域証比較データ	本事業で得られたコスト比較資料やアンケート資料のデータを用いることで今後のOLT建築の普及に活用できるという十分なライフデザイン・カバーでもたるを認ることができた。OLTパネル正弦のパネルサイズ や様式会社を工夫してコスト橋減したことにまり、今後の事例でも同様の工 竹内 幸生法で合理的・経済的なCLT建築が可能であることを示した。	本事業では、CLTの審及に向け、住戸モジュールの規格化、既 株式会社studio 製品金物の活用によるコスト削減、施工の省力化と短工期化をKONUJ・設建築土事 存能した。ユントエ法により配工網度向上を存棄負担軽減が 粉所 可能となる一方、CLTの安定供給やヤードの確保、用り込み時 筋所 の強度確保などの課題も明らかになった。	全国の同規模市町村の子育で支援住宅の実態と比較しなが 、
建築物概要	用途 事務所 構造 CLT7、4ル工法+RO 造在來韓相工法+Sb 開設 2 配金而積 412.06㎡ 工事種別:新築	用途,共同住宅 構造:GLTv, 3,4工法 關整:GLTv, 3,4工法 工事種別:新築 竣工日:令和7年2月28日	用途 事務所 構造 CLT/ネルエ法 開数:2 CLT/ネルエ法 配本面積:800.19 mf 工事種別:新築 竣工予定: 令和7年4月30	用途. 共同住宅 構造. GCIT/13小上法 開設. ECTIT/3小上法 開放. EXTEN 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	用途,共同住宅 構造:CLTバネルエ法 階級:CLTバネルエ法 間域(前報:1897.89㎡ 工術種別:新築 竣工予定:令和8年2月15
建設地	香 小 豆 郡	西 画画 画画 の の 可 関 の の 可	女間 神が 悪三 黒二	という を対する で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	图 柒 二 槳 託 臣
RC造、S造等他工法との比較にかかる提案	関はが接に不現し他工法による類似の用途・規模における施工実績、および、離 5に未質別し仕上他であるからの目後の連携が豊富で表面す ま空気層を挟み込。6017との造で建築した場合の増用・工期・人工を比較終証で 所の形成の ることができる。017の材料調達、大型材料の能入、合理的工 種パネル工法の 高出ができる。017の材料調達、大型材料の能入、合理的工 種パネル工法の 電影が指することが、大工の人材不足、施工手間を網 のZEB・ZEH・水準、洗する。離島に限らず、全国的な大工の人材不足の中でもCLT 貢献できるよう検 建築物の普及につながることが予想される。	OLT36mモジュール標準化工法による個職工集合住宅。 過去4様の完成したCLTパネル工法の建物に比べて、不利な地 開催にすることによる構造的なパードルと耐火構造への対応 歴条件の敷地に建てる場合の補強や基礎のコスト、そしてRG造 放展によってみーセット施工方法やCLTパネル用リ込み方法。旧画を換えた場合とのコスト比較により、CLTパネル上法の有 直音性能化との検証も行う。 31M・金物オブジェクト公開版作成とCASBEE認証+高知県環境構造版体のコストの比較について構造体、施工工程、基礎工事 所の周辺対策を考慮して検証する。	本版CLTパネルを用いた場合のコストを基軸とした加工、運搬、等・施工場でも他が表別では至いての建築コスド版体費・輸送 能工性の検証を行う。おった11の7型スランを用いた木質構造に再換・物の結果をまわら。それぞれの項目に対して検骨量で設計し群馬県 おける連貫性的上に同いた構造方式を検証する。ように重難等の結果をまわら。それぞれの項目に対して検骨量で設計し 政務を設計者や施工者と付けでなく地域に対して構造見学会を「場合と比較を削した無限を分析し、施工ルボートとともに取り 数回行い、CLT建築に対しての関心や普及にはけたデータ収集(他的な判断においてCLT建築のメリットが明らかとなると思われ を行う。	本事業では、GLTによってユニット化した住戸である「GLTセ本事業で実証する建築物と同じ建物を鉄骨造で建築した場合に ジュール」による共同性子に関する設計業配に取り組むによって、OLYで、終コスト・工期・人工等で比較し、施工工程・手法の開 GLTの普及性やコスト合理性について実証する。また、欧州中 急によるコスト・海洋等の課題を終討する。また、GLTモジュール・愛知県 ICGLTをビジュール化した集合性モジが多く実現されている。日本「江を用いることで、大幅な工規の認識を終討する。また、GLTモジュール・愛知県でも将来が同じ、大平のことから、44年の、日本「江を用いることで、大幅な工規の指数が指令されることから、44年海市・事業を通じてオフサイト型のロードジュール「江水を確立すること」報告の場合とは、CTコンストの部派が指令でき、低価格化も実現可可、建設規場における省力化や恒工期化についても実証する。	協議会構成員は、他工法での類似の用途・規模の建築物の協工業績が豊富であり、本事業で実証するCLTを用いた建築物と 生の開発。その住宅プロトダイグをCLTをで開発し、複数地域に「新学化設・20年以上第一プロイ、第コスプ、工第・人工 おいて開削する。モデレルが可置、3円指位の第10年17章工制を建設するととは、本事業における存葬職選、ユニット工程・ 上手が必確定し、任戸ユニット配列によって、本意の任政域とは、全球があった。との可能である。また、他工法と短回山県 民コミニーディの機を創止する。岡山県条義町を計画地として、中、本庫の配りの関題が分析することが可能である。また、他工法と短回は 東コミニーディの機を創止する。岡山県条義町を計画地として、年間の一位の配り表現のために、構造材とて使用の正確に対して、本道の任政域とは 育で世帯層に相応しい汎用性のあるCLTユニットモデルの確立。
実証する内容	小豆島で事業所を建設するが、昨今のCLT建築は外装に木型し 仕上げが少ない。CLT本来の木質を内が装ともに木質現し仕上げを表現することを実験により確認する。外壁は空気層を挟み込んで煮りた大きを発射に、水質化とともこの特徴環境への断熱性能を向上させ、さらに、2層分のCLT通し壁パネル工法の設用による組立工数削減も期待でき、2030年のZEB・ZEH水準の適合化に同けてCLT本賃建築物の普及に貢献できるよう検証した。	CLT36mモジュール標準化工法による階建て集合住宅。 4階建にすることによる構造的なハードルと耐火構造への対応 砂能に、アンカーセット施工方法やCLTパネル用り込み方法、 連音性能などの検証も行う。 BIM・金物オブジェクト公開版作成とCASBEE認証+高知県環境 不動産の認定第1号を目指している。	大阪OLTバネルを用いた。場合のコストを基軸とした加工・運搬・船工住の韓配を行う。またCLTのT型スラアを用いた水質構造に関係が適性性向上に向けた構造方式を検証する。さらに選撃関係の設計者や結工者だけでなく地域に対して構造見学会を製回行い、CLT建築に対しての関心や普及にむけたデータ収集を行う。	本事業では、CLTによってユニット化した住戸である「CLTモンール」による非同住宅に関う該計・実施に配り締むことで、CLTの普及性センルで実施する。また、欧州で IROL1をモジュールルに、集合住宅がる、実践なれている。日本・日本界が自じし、著木用などから、省かし、が求められており、本事業を通じてオフサイト型のCLTモジュール上法を確立することで、建設環境における省力化や地工は、	地方の遊休資産、遊休農地を活用した子育で世帯向け共同住 もいで展開する。 ・モデルリン・イブをCIT達で開発し、複数地域に もいて展開する。 ・モデルリの計画。 別用性の高いCIT道コニット モデルを構築し、住戸ユニット配列によって、本造の柱環境と任 コニュニティの場を創出する。 岡山県条業町を計画地として子 育で世帯層に相応しい汎用性のあるCITコニットモデルの確立 を実証する。
CLTの主な 使用方法	構造体	構造体	構造体	構造体	構造体
実証の種類	建築、設計、性能	建築、設計、性能	ox 類	1884 1	松計
応募事業名	(仮称) M社小豆島 事業所ビル新築工 事の建築実証	(仮)いの町集合住 宅新築工事の建築 実証	瑞穂建設社屋新築 計画の建築実証	オフサイト型CLTモ ジュールエ流を用 いた共同性宅新築 エ事の設計楽証	奈義町子育で住宅 蜥 築工事の設計 実 証
応募者名 (協議会運営者)	林式会社西崎組 代表取締役 西崎 博史	株式会社響建設 代表取締役社長 丁野 敏明	ライフデザイン・カパヤ 棒式会社 代表取締役 池田 基 弘	株式会社 studio KOIVU一級建築士事 務所 代表 坂口 友希夫	株式余社シーラ 代表取締役CEO 湯 勝 維行
応募者名 (建築主等)	株式会社神栄建設 代表取締役 地神 秀治	株式会社響建設 代表取締役社長 丁野 敏明	瑞穂建設株式会社 代表取締役 篠原 女 洋	ナカミライズホール ディングス株式会社 代表取締役 中村 太 紀	株式会社シープ 代教取締役CEO 謝 職権行
番号(都道府 県順)	7	8	6	10	=